

令和6年2月9日

広報広聴委員会

阿久根市議会

1 会議名 広報広聴委員会

2 日時 令和6年2月9日(金)

午前10時開会

午前11時26分散会

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原慎一委員長、白石純一副委員長、高崎良二委員、
大野雅子委員、川畑二美委員、竹原信一委員

5 事務局職員

次長兼議事係長 上脇重樹

6 会議に付した事件

議員と語る会について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

○ 議員と語る会について

川原慎一委員長

ただいまから広報広聴委員会を開催します。

議員と語る会を議題とします。

令和5年度の語る会は、前回の委員会で内容を決定していただき、1月9日に全議員に対して周知をいたしております。

開催日が来週に迫ってまいりましたので、今日は、当日の広報広聴委員の役割分担やレイアウト、集合時刻などを決めてまいります。20240209の広報広聴委員会、議員と語る会、打合せの資料を御覧ください。

まず、役割分担です。

委員長で案を作成しましたので、説明します。

大川と脇本については、3名の委員で対応することになります。司会は班長である委員長と副委員長が行います。あわせて計時係を兼務します。計時係はストップウォッチで時間を図り、1分、1分30秒、2分でベルを鳴らして、発言者に経過時間をお知らせします。記録係を1人担当していただきます。記録係は、出た意見を記録します。同時にボイスレコーダーで録音します。マイク、撮影係をお1人担当していただきます。マイク記録係は、司会者が指名した参加者にマイクを渡し、発言が終わったら受け取って、次の発言者に渡します。マイク係の合間には、タブレット端末などで会の様子を撮影します。

風テラスあくねでは、委員全員6名で対応します。

司会は座長である委員長が行います。計時係を副委員長にしていただきます。記録係、マイク撮影係をそれぞれお2人の委員にしていただきます。

なお、会場設営、後片づけ、来場者の案内については、全議員で対応することとします。以上ですが、これに御異議ございませんか。

白石純一委員

役割分担の前に確認なんですけども、この記録係は、自分たちのために記録をするという、自分たちというか、議会の記録として記録をすると理解しますけれども、当日、出てきた意見をですね、皆さんに見えるように、前に書くというようなことも考えたほうがいいのかなと思うんですけど。

というのがですね、5、6年前に若手農業者たちとの意見交換会をしたときに、ホワイトボードだとすぐもういっぱいになるので、ホワイトボードにわら半紙を、模造紙を貼って、そこに一応書いて、その模造紙がいっぱいになったら、その壁に貼っていくというようなことをして、出た意見がどういうものが出たかというのを皆さん見ながら、見ることも、人が言ったことすぐ自分で全て記憶できないので、見ることも大事なかなと思うんです。

そういうことも検討していいのかなと思うんです。

川原慎一委員長

今、記録についての御意見が出ましたが、ほかの委員の方。

竹原信一委員

今の件についてなんですけども、今、このルール、やり方としては1人1分30秒は話

しっ放しにしていって。そしてそれを聞いて書く、間に合うかな。

白石純一委員

1字1句全て書くのではなくて、論点だけでいいと思うので、こういう箇条書ですね、論点だけ書けば十分間に合うと思います。

それを実際、5～6年前もやったりしました。

竹原信一委員

すいませんが、もし私が記録係されたら、私にはちょっとできないです。

次がもう話しをし始めてるときに、今のやつをね、話してる間で終わらせないかんわけでしょ。そして、次はもう話が始まるわけじゃないですか。とてもできない。

白石純一委員

そういう発言を促すときにですね、まず、論点、結論を言っていただいて、その後、補足説明をしてくださいというような投げ方をすれば、最初に、その論点、まず大事なところ、言っていただくようにすればその部分を、それが全て、それは会議録ではなくて、どういう論点、どういうテーマが出たかなというぐらいの箇条書でいいと思うので、それは完璧ではもちろんできないと思いますので。会議録じゃないという認識だったらできるんじゃないかなと思うんですね。

竹原信一委員

この次のことにもなるかもしれない、会議のルール、会のルール。もうこれがさ、指摘はさせない、質問を受けない、ねえ。こんな会の話を書いてどうすんのそれ。

川原慎一委員長

暫時休憩します。

(休憩 午前10時6分～午前10時26分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

この役割分担の件ですが、先ほど、白石委員からございました、まず記録についてですが、大きな紙に書いていくのが必要であるかどうかというところで、まずお諮りしたいと思います。

それで、やるとなると、記録係に対しての15日の負担は相当大きくなりますので、もうその方が、例えば、市民からの答え、ちょっと話したいなと思うことも多分できないと思います、委員に関しては。

[竹原信一委員「そうよね」と呼ぶ]

だから、そこに関しては、そこも含めた上で御判断いただきたいと思います。

白石純一委員

さっき言ったように、会議録用に自分で記録をする方はかなり重労働。もちろんそれは一つの仕事になる。ただし、マイクで録音はしますので、後で聞き直して、これまでもですね、会議録は大体、後日つくっておりましたから。ただ、それはもちろん書くことに一生懸命なと思います。

もう1人、必ずしもその我々広報委員だけに役割を限定することもなく、今までの議員と語る会でも広報委員以外の方にも仕事はしていただいていたので、それを割り振れば

十分できるのかなと思ってます。

〔川畑二美委員「あ、はい、その他という方々はどんな方々か」と呼ぶ〕

〔「委員会中です。発言許可を求めて」と呼ぶ者あり〕

川畑二美委員

今、白石委員が言った、そのほかの方々っていうのは、前はどんな方をサポートしてもらったんでしょうか。

白石純一委員

ここにあるような係ですよ、司会、受付、記録、マイク。

ちなみに、前回、模造紙に書きながらというのは、進行役がやりました。

〔川畑二美委員「進行役というのは、結局、委員長がするということですか」と呼ぶ〕

そのときはですね。

〔川畑二美委員「できるかな」と呼ぶ〕

それは実際5～6年前やってたので、できるんですけども。

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午前10時30分～午前10時38分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

副委員長から出た、模造紙に出た御意見を書いていく、記録係になるのか、そこはまだこれからですが、それをまずしてもいいと、するべきではないかっていう御意見の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

ありがとうございます。

挙手が少ないようですので、これに関しては、今回はやらないでいきます。

それでは、係を決めてまいりましょう。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

まず、司会・計時係は委員長。

記録係ですね、先ほど、仕事の内容等もお話をさせていただいております。記録係は、どなたがやりますか。

まず大川のほうから決めましょうか。大川は、竹原委員と川畑委員どちらかになります。

竹原信一委員

ちょっといいですか。

録音装置を操作するわけですよ、実際の話。

川原慎一委員長

記録はね。

〔発言する者あり〕

川原慎一委員長

暫時休憩します。

(休憩 午前10時39分～午前10時41分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

記録係についてですが、川畑さん、竹原さん、どうでしょうか。

[竹原信一委員「私がしましょう、川畑委員は動けないからあんまり。記録係が動いて
いってね」と呼ぶ]

マイク係もですよ。

[川畑二美委員「マイク係も一緒よ」と呼ぶ]

[竹原信一委員「マイク係も」と呼ぶ]

[発言する者あり]

[竹原信一委員「じゃあ、川畑委員、記録係する」と呼ぶ]

[川畑二美委員「ずっと座って」と呼ぶ]

ちょっと待ってください。委員会中です。

[川畑二美委員「休憩をお願いします」と呼ぶ]

竹原信一委員

いやいや。じゃあですよ、私がマイク係をして、川畑委員が記録係でどうでしょうかね。

川原慎一委員長

今、竹原委員から御発言がございました。マイク・撮影係を竹原委員、記録係を川畑委員という御意見でございますが、川畑委員はいかがですか。

[竹原信一委員「反対はむりでしょ」と呼ぶ]

[川畑二美委員「うーん、どっちがいいのか」と呼ぶ]

[竹原信一委員「マイクを持って動けないよね」と呼ぶ]

[川畑二美委員「そうですね、うーん」と呼ぶ]

暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時43分～午前10時46分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、今、動画の件がございましたが、それはマイク・撮影係の方に一任するという
ことで、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

それでは、大川小講堂の会場に関しましては、司会・計時係を委員長、記録係を川畑委員、
マイク・撮影係を竹原委員に決定します。

脇本地区公民館についてですが、司会・計時係は白石副委員長、あと、記録係、マイク
・撮影係を大野委員と高崎委員はどちらでしますか。

大野雅子委員

私が記録をしますので、マイクの係を高崎委員がしてくればありがたいです。

川原慎一委員長

今、大野委員から、記録係を大野委員、マイク・撮影係を高崎委員にという御意見でござ

ございましたが、高崎委員、いかがですか。

高崎良二委員

はい、それをお願いします。

川原慎一委員長

それでは、脇本地区公民館については、司会を白石副委員長、記録係を大野委員、マイク・撮影係を高崎委員で決定いたします。

風テラスは、司会が私、計時係を白石副委員長、記録係をお2人。これは、いかがでしょうか、大川と脇本のお2人にしていただく。マイク・撮影係を大川、脇本でされたお2人にしていただくということで、いかがでしょうか。変えたほうがよろしいでしょうか。

〔「いや、いいと思います」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、風テラスの記録係を大野委員と川畑委員、マイク・撮影係を竹原委員と高崎委員にさせていただきます。

準備物品に関しては、書いてあるとおりでございます。

横断幕、拡声機、録音機、カメラ、ストップウォッチ、卓上ベル、記録用紙、周知チラシ、会の説明資料を持っていくようにします。これは、事務局にお願いしてもよろしいでしょうか。

白石純一委員

まあベルは必要だと思いますけど、ストップウォッチはこれに機能がありますよね。それを。

〔竹原信一委員「あるものでいいんじゃないの」と呼ぶ〕

見せといたほうがしゃべる人も。

川原慎一委員長

見えないでしょう、そこは。小さいから。会場広いと見えなくなる。

〔白石純一委員「見える人には見えた方がいい」と呼ぶ〕

〔川畑二美委員「ここからは見えますよ」と呼ぶ〕

上協議会事務局次長兼議事係長

ストップウォッチと卓上ベルは本会議で使用するものがございますので、事務局で準備をいたします。

横断幕も過去のものでございますので準備をいたします。

拡声機、マイク音響設備に関しては、会場のものを借りるようお願いをしてあります。

録音機は、以前、議員と語る会で使ったものがございます。

カメラが、デジタルのコンパクトカメラが事務局にはありますが、それでは不足するのでタブレットを使っただけならばと思っております。

記録用紙は準備をいたします。

周知チラシも印刷が余っているものがありますので、それと会の説明資料と準備をする予定であります。

白石純一委員

何でこれ言ったかという、私も1分、2分でしゃべれって言われたときにですね、いつなるか分からない不安があるんですよ。30秒前になって、あと30秒しかないというより

は、こうやって見えてたほうがより安心できるので、全ての人に見えないかもしれないけれども、ストップウォッチと併用してやったほうが親切じゃないかなと思いますね。

竹原信一委員

司会の方が裁量で、どうするか判断してもらっていいんじゃないですか。

川原慎一委員長

今、白石委員の御意見を受けて、竹原委員から、司会の裁量でしていただければいいんじゃないかという御意見がございましたが、いかがでしょうか。

〔川畑二美委員「それでいいと思います」と呼ぶ〕

それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、見えるような時計に関しましては、それぞれ司会の裁量に任すということで、決定したいと思います。

それでは、準備物品に関してはよろしいでしょうか。

高崎良二委員

このときに、例えばその受付の名簿を、来た人に名前を書いてもらうとか、準備にも入るんだけど、チラシを来た人が勝手に取ってくれて言って、受付っていう部分では、何もないのかな。

川原慎一委員長

暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時52分～午前10時53分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

準備物品に関しては、今、話したとおりになります。

それでは集合時間を決めてまいりたいと思います。

上協議会事務局次長兼議事係長

会の説明資料を、先ほどおっしゃったことを、もう1回確認をしていただければ助かります。

川原慎一委員長

それ先にですか。

〔竹原信一委員「さきほどの内容ね」と呼ぶ〕

はい、それでは、当日配付資料ですね。

白石純一委員

その資料については、ほかにもちょっと質問があるので、今やったほうがいいですか。

川原慎一委員長

先にください。

白石純一委員

お1人2分以内という会の発言ルールですけれども、例えば1会場20人ぐらいだったら2分で十分なんですけれども、これが30人、仮に、50人来たときに、2分ずつだと会議に入らないですよ。

その人数によって、これを1分以内にするとか、その辺も検討すべきかなと思うんですけどいかがでしょうか。

川原慎一委員長

今、発言1人当たり2分以内ということに対して、白石委員から御意見がございました。暫時休憩入ります。

(休憩 午前10時55分～午前11時10分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、会のルールに関してですが、発言はお1人2分以内、これはもうこのままでいくと。最初に司会者、班長が話すときに、またそこについては、詳しくといたしますか、こういった形でいきますよという話は、そこに加えていくということでもよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

次の前向き参加、自分の思いを語るについては、「テーマに沿ってあなたの言葉をお話してください。会の趣旨にそぐわない御発言は、班長の判断で控えていただくことがあります。」に変更でもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかに関しましては、御意見がございませんでしたので。

竹原信一委員

そこで班長という言葉が市民に。司会かな、そうしたほうがいいかな。

川原慎一委員長

では、「班長（司会）の判断で」ということに変えたいと思います。今のお話で御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議ございませんので、決定いたします。

それでは、集合時間です。何時に集まりましょうか。

白石純一委員

これまでの例では1時間前にしてました。

〔竹原信一委員「1時間は長すぎたような気がしない」と呼ぶ〕

早い人はですね、やっぱり30分前ぐらいに来られるんですよね、市民が。

〔発言する者あり〕

川原慎一委員長

それでは、開始1時間前の、大川と脇本は午後5時だったよね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

でしたね。

風テラスはちょっと早かったよね。

〔川畑二美委員「脇本の公民館は体育館ですか」と呼ぶ〕

暫時休憩します。

(休憩 午前11時13分～午前11時14分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

集合時間に関しましては、2月15日木曜日は午後6時に集合、17日は午後5時に集合になります。

会場設営についてですが、別紙レイアウト例を御覧ください。

一応ですね、円形でっていうことで、御提案させていただきたいと思っております。

前に委員がいるのがいいのか。

暫時休憩します。

(休憩 午前11時15分～午前11時21分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

レイアウトについてですが、取りあえず一つの円として、10から20の間で椅子を並べておくと。

あとは来た人数に応じて椅子を出して行って座っていただく形に、なるべくきれいな円になっていくようにしていくと。議員が一つのところに固まらずに、議員を市民との間にに入れていくという形をとっていくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

その他ですが、会場設営後は、会が始まるまでの間、議員全員でですね、来場者の案内をしてはどうかと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

これも先ほど、椅子を並べながらということにもなりますので、そうやっていただきたいと思えます。

御異議なしと認め、そのように決しました。

ほかの委員の皆さんから、何かございませんか。

白石純一委員

備品のことで言い忘れたんですけども、前、つくったんですけど、議員がシールで、名前だけつけといたほうが、市民には親切なのかなと思うんですけど、いかがでしょうかね。

川原慎一委員長

暫時休憩します。

(休憩 午前11時23分～午前11時25分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

準備物品の中に、議員それぞれの名札を準備するというので、御異議ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

はい、ありがとうございます。

以上でございましたら、この今日の決定事項を踏まえて、15日の全員協議会で改めて全議員に周知をいたします。

白石純一委員

この会のポスターについては、委員長が頑張られて非常にたくさんの方に、すごいたくさんで感謝したいんですけど。私も今日、私もあと何枚かできればもらいたいと思っているんですけど、5枚ぐらいありますか。

川原慎一委員長

今、白石委員からもございましたが、まだ頑張れる方、どんどんおっしゃってください。

〔竹原信一委員「何」と呼ぶ〕

ポスターです。

〔竹原信一委員「すごいね皆さん」と呼ぶ〕

〔川畑二美委員「あれ、自分は」と呼ぶ〕

すいません、委員会中です。

よろしいですか、ほかには。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で本日の広報広聴委員会を散会します。

(散会 午前11時26分)

広報広聴委員会委員長 川 原 慎 一